

＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝

～「米づくりの本来あるべき姿」に向けて～

夢 米 ～ る マ ガ ジ ン No.247 (通巻) 発行日：2008.1.22

＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝

今回のお知らせ

「第6回「販売」を軸とした米システムのあり方に関する検討会」(1月22日)
開催！

「第6回「販売」を軸とした米システムのあり方に関する検討会」(以下「検討会」)について、その概要をご紹介します。

議題

- (1) 国産バイオ燃料の現状と今後の展開方向
(官房環境バイオマス政策課バイオマス推進室長)
- (2) 専門家ヒアリング(米のバイオエタノール利用の現状)
「イネを原料としたバイオエタノールの地域エネルギー循環モデルづくりについて」
(全国農業協同組合連合会営農総合対策部
バイオマス資源開発室長 後藤 厚氏)
- (3) 日本産米の輸出状況について
(総合食料局食糧部食糧貿易課長)
- (4) 専門家ヒアリング(米の輸出の現状)
 - ・ 「全農における米輸出の取組みについて」
(全国農業協同組合連合会米穀部事業対策課長 荒井 幹雄氏)
 - ・ 「中国における米の販売状況」
(伊藤忠商事(株)飼料・穀物部プロジェクト開発室長 片倉 裕氏)
 - ・ 「米の輸出について」
(新潟県新潟市 玉木 修氏)
- (5) 質疑・意見交換
- (6) その他

配布資料

- 資料1 国産バイオ燃料の現状と今後の展開方向
- 資料2 イネを原料としたバイオエタノールの地域エネルギー循環モデルづくりについて(後藤氏提出資料)
- 資料3 日本産米の輸出状況について
- 資料4 全農における米輸出の取組みについて(荒井氏提出資料)
- 資料5 中国における米の販売状況(片倉氏提出資料)
- 資料6 米の輸出について(玉木氏提出資料)
- 参考 「販売」を軸とした米システムのあり方に関する検討会スケジュール

検討会での配布資料につきましては、農林水産省のホームページに第1回から掲載しています。必要な方は、次のアドレスへアクセスして下さい。

農林水産省ホーム>政策情報>研究会等>「販売」を軸とした米システムのあり方に関する検討会

http://www.maff.go.jp/j/study/kome_sys/index.html

その他

第7回の検討会は、2月1日（金）に開催される予定です。
議事内容等の詳細につきましては、順次、農林水産省のホームページに掲載
される予定です。掲載され次第お知らせします。
現在、第3回までの議事録が掲載されています。

＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝

井戸端話（編集後記）

第6回の検討会では、バイオ燃料とお米の輸出について、実際に取り組んでいる方
から、現状を伺いました。

バイオ燃料については、その将来性に「日本の水田農業は資源となりうる」とか「生
産者のモチベーションが上がる」など委員の反応は上々でした。まだまだ問題は山積
みのようですが、これからの研究開発に期待しましょう。

輸出については、中国との商習慣の違いや水質の問題で美味しいご飯がうまく炊け
ないなどの話がありました。今後は、炊飯器と一緒に売り込んでいくという提案もあ
り輸出についても大いに期待したいものです。

今回で、米の潜在的な需要の関係は終わりました。米粉、飼料、バイオ、輸出とい
う非主食用需要への対応が大きな鍵ということですね。

次回は、先進的な米経営事例について、実際に経営を実践されている方をお呼びし
てお話を聞く予定です。皆様にとって参考となる話がたくさん出るかもしれませんよ。
楽しみに待っててください。

＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝

電子出版：夢米～るマガジン（不定期発行）

発行元：総合食料局 食糧部 計画課 需給調整対策室

お問い合わせ先の電子メールアドレス：

yume_kome@nm.maff.go.jp

ご意見、ご感想などは、上記電子メールアドレスまでお寄せください。なお、お
寄せいただいたご意見、ご感想などにつきましては、ご本人のご了解をいただくこ
となくこのメールマガジンで氏名等を削除した上で、ご紹介させていただくことが
ありますので、紹介して欲しくない方はその旨をご記入の上、お寄せください。

購読解除は、下記ホームページからお願いします。

<http://www.syokuryo.maff.go.jp/notice/data/touroku/touroku3.2.htm>

このメールマガジンは、以下の条件に従った場合に限り、複製し、頒布するこ
とができます。

記事内容を一切、加筆・編集又は抜粋しないこと

営利目的のために、このメールマガジンを転用しないこと

＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝